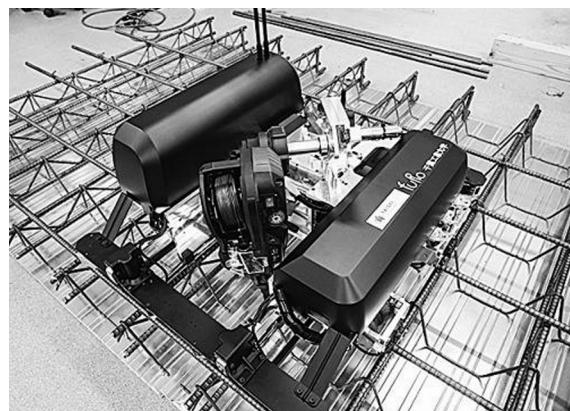


鉄筋結束作業の自動化ロボットを開発

大成建設



T=i ROBO Rebar

作業で、中腰姿勢による作業のため作業員への負担が大きく、作業の効率化や身体的負担の軽減などが求められている。

作業で、中腰姿勢による作

トで1台当たり1日250m³の自動結束を目標に、鉄筋交差部の検出精度の向上等を図る共に、ロボットの現場使用を前提とした新たな施工方法も検討していく。

東京都建設局

東京都建設局の新技術情報データベースに、ゴトウコンクリート（愛知県豊川市、社長＝松林秀佳氏）が開発した自転車に優しい側溝と、防草研究会（代表＝石川重規氏）が開発した防草ブロックが新規登録された。

全省と警察庁が自転車の交通事故の防止を目的に整備した「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に対応したスリット側溝で、側溝の本体上までアスファルト舗装の表層を施工し、道路に露出するエプロンの幅を90mmに抑える自転車の快適な走行を実現した。

自ら成長を抑制する防草機能を備えた道路用製品。除草メントナントスを不要とし、CO₂排出量が軽減できる。防草グレーチング「アーレファンドレン」も揃えている。

世界初 鉄筋EXPO 2017

24日から幕張メッセ

鉄筋 EXPO

2017(主催) 同実行委員会 鉄筋EXPO

継手協会、全国圧接業協同組合連合会、普通鋼電炉工業会が共催
鉄筋業界に係わる人、企業、団体
関連産業の人材交流による未来創
造の場として、新製品、最先端技
術、先進サービスの情報を提供す
る。また、鉄筋業界の震災対策の
取り組みとして、優れた鉄筋技術
と経験を国内外に紹介し安全で安

コンクリート製品関係では、共和コンクリート工業、武井工業所、トヨタ工機の3社が共同出展し、共和コンクリート工業が波返しブロック、武井工業所がロードエル・防草パネルを出展。トヨタ工機は脱型・型組や掃除のしやすさなど作業環境に応じた、より使いやすい型枠を



自転車に優しい側溝

大成建設（本社 東京都新宿区西新宿、社長＝村田謙之氏）は、千葉工業大学と共に、自動で鉄筋を結束する自立型ロボット「T-irobo Rebar」を開発した。仮止めされた鉄筋上をロボットが前後左右に移動して鉄筋交差部を検知し、正確な結束作業を自動で行う。鉄筋工事の内、約2割を占める鉄筋結束作業をロボットが代替するため、約2割の省人化が可能。2018年度から本格的な現場導入を図る。

緯移動による鉄筋結束を再開し、作業範囲の結束作業を完了させる。テーパー車輪の採用により本体が鉄筋上にしつかり設置されため、鉄筋結束時に本体がぶれず安定した姿勢を保つ。車輪には仮設置時の配筋誤差を吸収する機能を備え、鉄筋配置に合わせて円滑に移動する。大きさは幅40cm、奥行き50cm、高さ30cm、重量20kgと軽量コンパクトで、作業員1人で持ち運びが可能。

同展は世界に向けた日本の鉄筋技術に関する情報の発信を通じて需要拡大を図り、業界の更なる発展を目指して開催する世界初の鉄筋に関する総合博覧会

繼手協会、全国圧接業協同組合連合会、普通鋼電炉工業会が共催
鉄筋業界に係わる人、企業、団体
関連産業の人材交流による未来創造の場として、新製品、最先端技術、先進サービスの情報を提供する。
また、鉄筋業界の震災対策の取り組みとして、優れた鉄筋技術と経験を国内外に紹介し安全で安心な建物・構造物の実現を目指す。
24日にシンポジウム、25日には全鉄筋傘下の各単組の代表者による日本一の鉄筋工を決める第2回TETSU—1グランプリも開催される。

コンクリート製品関係では、共和コンクリート工業、武井工業所、トヨタ工機の3社が共同出展し、共和コンクリート工業が波返しブロック、武井工業所がロードエル・防草パネルを出展。トヨタ工機は脱型・型組や掃除のしやすさなど作業環境に応じた、より使いやすい型枠を提案する。また富国石油が建築用スペースや3D造形品を出展する。

開催時間は10時から17時(最終日は16時)。入場料無料(事前登録制)。

側溝露出面には滑り止め加工を施している。側溝と歩車道境界ブロックが分離した構造で、歩車道境界切り下げ位置の変更にも対応できる。排水性舗装にも対応し路面集水が可能。都内では都建設局を